

《資料館便り》

平成 28 (2016) 年
2 月号



石川町立歴史民俗資料館は、町の文化財保存と活用、町民の教育、学術及び文化の発展を目的に、昭和 49(1974) 年秋に開館しました。公的施設としては、県下のさきがけの一つです。

○「資料館便り」編集：発行 石川町立歴史民俗資料館
〒963-7845 石川町字高田 200-2 0247 (26) 3768

企画展『飯島栄一コレクション』



美しい長石の結晶 ↓



← 和久観音山鉱山の説明をする飯島氏
国立科学博物館鉱物観察会 (1996)

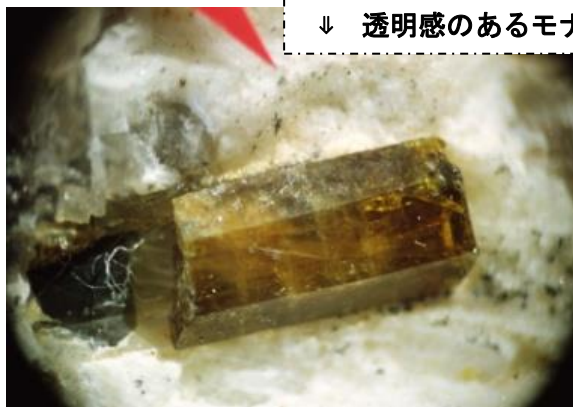
○長年に亘り、「鉱物の町」石川の鉱物に愛情を注ぎ、その保護収集、教育的普及活動に尽力して来られた故飯島栄一氏 (1935~2013) を偲ぶ、企画展を開催いたします。

飯島氏は生まれ育った石川町の鉱物に強く心をひかれ、多くの鉱物を収集されると同時に、石川鉱石採掘跡保存会や石川町鉱物保護収集委員会の役職を務め、その保護活動に尽力されました。また、石川の鉱物のすばらしさを世に広め、青少年の教育にも資する目的でさまざまな活動に取り組みられました。

現在、石川町には稼働している鉱山が無い状況にあって、町内和久にある和久観音山鉱山跡地を飯島氏が中心になって整備し、子供たちが安全かつ安心して鉱物採集できる環境を提供されたことは特筆に値します。ここには、県内外から多数の青少年が訪れ、さまざまなペグマタイト鉱物に目を輝かしています。なかには、研究者の道に入った少年もおり、「鉱物の町」石川の名が一層高まりました。

昨年、夫栄一氏のご遺志を受け、洋子夫人から町に約 700 点の貴重な鉱物標本が寄贈されました。石川町を代表する鉱物である『長石』や『モナズ石』のすばらしい結晶をはじめとした、多数の優れた標本群を觀賞し、飯島氏のご功績をお呼びいただければと思います。

↓ 透明感のあるモナズ石の結晶



企画展「飯島栄一コレクション」

- ・主催：石川町教育委員会
- ・開催期間：3月1日(火)～5月8日(日)
- ・場所：石川町立歴史民俗資料館
9:00～16:00 (入館は 15:30 まで)
- ・休館日：月曜日 ※3月21日(月)及び
5月2日(月)は開館します。(翌日休館)
- ・入場無料